

ピアノ曲と朗読で贈るショパンの世界 鳥取・米子公演がついに実現！



作 = 斎藤憐 演出 = 佐藤信
出演：竹下景子 辰巳琢郎 ピアノ：安達朋博

ジョルジュ

ピアノと物語

予定曲目：革命、別れの曲、雨だれ、子犬のワルツ、幻想即興曲 ほか

2017 11/18 (土) 11/19 (日)

とりぎん文化会館 小ホール
鳥取市尚徳町101-5 0857-21-8700

米子市文化ホール メインホール
米子市末広町293 0859-35-4171

両日共通 14:30開場/15:00開演 (終了予定 17:30)

全席指定 ¥3,800 税込 ※未就学児入場不可

プレイガイド チケット 一般発売 8月19日(土) 10:00

とりぎん文化会館 倉吉未来中心 アルテプラザ(財団西部事務所/米子天満屋4階) 米子市文化ホール
山陰放送オンラインチケット 鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス
CNプレイガイド ローソンチケット(Lコード63258)

《お問い合わせ》BSS山陰放送 0859-33-2111 平日10:00~17:00 <http://www.bss.jp/>

主催： BSS山陰放送 (公財)鳥取県文化振興財団 (一財)米子市文化財団 協力：鳥取県
企画制作：NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺



NOCTURNE

あらすじ・内容

ピアノの詩人と呼ばれたフレデリック・ショパンの名曲の多くは、作家ジョルジュ・サンドと過ごした9年間に生み出されています。故郷ポーランドを想いながら、ジョルジュの献身的な愛に支えられ多くの名曲を生み出したショパン。

最後は別れの道を選択した、ふたりの波乱に満ちた情熱の日々。ジョルジュと弁護士ミッシェルが交わす往復書簡の朗読と生演奏のピアノの旋律で、ショパンの39歳と7カ月の生涯を描きます。出演はショパンを慈しみ、支え続けた作家ジョルジュに竹下景子。二人の関係を見守る包容力のある弁護士ミッシェルに辰巳琢郎。そしてピアノの詩人ショパンの繊細で美しい名曲を、高校卒業後単身ヨーロッパに渡り数々のコンクールで入賞を果たした実力派ピアニストの安達朋博が演奏します。



辰巳 琢郎
Tatsumi Takuro

大阪教育大学附属高校2年生の時、つかこうへいの舞台に感銘を受け芝居を始める。京都大学文学部在学中は、関西では人気実力ともにNo1の『劇団そとばこまち』を主宰し、役者としてだけでなく、プロデューサー、演出家として'80年代前半の学生演劇ブームの立役者となる。卒業と同時にNHK朝の連続テレビ小説『ロマンス』で全国区デビュー。以来、知性・品格・遊び心と三拍子揃った俳優として活躍している。

観光庁アドバイザー、自称鳥取県観光大使代理、日本棋院評議員、近畿大学文芸学部客員教授。



竹下 景子
Takeshita Keiko

東京女子大学文学部社会科学学科卒業。NHK『中学生群像』出演を経て1973年NHK銀河テレビ小説『波の塔』で本格的デビュー。映画『男はつらいよ』のマドンナ役を3度務め、『学校』では第17回日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。テレビ・映画・舞台への出演の他、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」日本館総館長をはじめ「世界の子どもにワクチンを日本委員会」ワクチン大使、京都国立博物館文化大使、C・C・C富良野自然塾でのインストラクターなど、幅広く活動している。



安達 朋博
Adachi Tomohiro

イノミルコヴィッチ高等音楽院(モスクワ音楽院提携校)を経てクロアチア国立ザグレブ大学・音楽アカデミーの鍵盤学科ピアノコースを最優秀にて卒業。在学中より、ブラームス国際音楽コンクールなど欧州各地の8つの国際コンクールで受賞。2016年、イスラエル・エルサレム交響楽団日本公演でチャイコフスキーのピアノ協奏曲第2番ソリストで出演。

感性は非常にセンシティブでデリケートである。それは音楽解釈の独創性にも繋がっており、根強いファンを増やし続けている。

パソコン、スマートフォンから いつでも簡単にチケットをゲット!

山陰放送オンラインチケットのご案内

①山陰放送のホームページでチケット予約 / CNプレイガイド 電話予約:0570-08-9999(オペレーター対応・年中無休10:00~18:00)

②予約したチケットのコンビニ発券 + コンビニ支払い(ファミリーマート、セブンイレブン)・クレジット決済

*チケットの発券にはチケット代金以外の所定の手数料がかかります。

詳しくは <http://www.bss.jp/>